

令和7年度 第2回理事会議事録

1. 開催日時及び場所

(1) 日時 令和8年3月2日(月) 14時00分～15時30分

(2) 場所 東京都千代田区神田錦町3-21

ちよだプラットフォームスクウェア 地下1階「R005」会議室

(3) 方法 対面及びweb会議システム「Zoom」によるハイブリッド開催

<https://us06web.zoom.us/j/84086202219?pwd=8iT2oydgyw7pKz4fr7aykINam0BcFK.1>

ミーティング ID: 840 8620 2219

パスコード: 642840(今回1度きりのパスワードです)

2. 理事数及び出欠理事数

(1) 理事数 9人

(2) 出席理事 8人

(3) 欠席理事 1人

3. 出欠理事の氏名

出席者:

会議室より: 中沢孝、室山哲也

Zoom より: 山崎直子、遠藤守、麻生茂、虎野吉彦、高田正隆、藤島豊久

欠席者: 上垣内茂樹

4. 出席監事の氏名

出席者:

会議室より: 棚橋秀行、富田実

5. 事務局の氏名

稲田伊彦、小定弘和、安田みお(議事録作成)

6. 前回議事録の確認

令和7年度第1回理事会議事録

7. 審議事項

第1号議案 令和8年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について

第2号議案 2026年度のYAC活動委員会のミッション案及び活動委員の選任について

8. 報告事項

(1) 理事長及び専務理事の業務執行状況について

(2) 理事の任期満了に伴う選任(重任)について

(3) 団員推移について

9. 議事の経過及びその結果

事務局小定がzoomホストとして、web会議システムにアクセスする出席者6名を受入れ、一人ひとりに、音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、相互に十分な議論を行うことができる環境であることを確認した。

(1) 理事会開会宣言

定款第33条に基づき、山崎理事長が議長となり理事会を宣し、本理事会の進行については稲田事務局長があたり審議に入った。

(2) 出席者と定足数の報告

稲田事務局長より、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立している旨を報告した。

続いて、審議に入る前に事務局 安田より、本日理事会資料の確認を行った。

(3) 令和7年度第1回理事会議事録確認

稲田事務局長より、令和7年度第1回理事会議事録の内容確認が行われ、特段の意見・異議がなかったことから、了承された。

(4) 審議事項

第1号議案 令和8年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について

事務局小定より、資料№.1 令和8年度事業計画書(案)について説明を行った。

続いて、事務局安田より、同じく資料№.1 令和8年度収支予算書(案)及び資金調達及び施設投資見込みを記載した書類について説明を行った。

稲田事務局長より、第1号議案について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

山崎理事長より、「フェロー」に関して、40 周年を機に周知をされていくということで、既に制度自体は作られたか。ホームページを見ても、申込方法がよく分からなかったので、状況を教えて欲しい旨、質問があった。

これに対し、事務局小定より、フェロー制度自体は既に始まっており、元団員が申し込みをいただいている状況であり、ホームページで上手く紹介できていないので、それを含めて分団の力も借りて周知していきたいと思っている旨、説明があった。

山崎理事長より、分団にこれまで関わってこなかった方たちもフェローだったら、という人もいるかもしれないので、広くホームページで申込みが分かりやすくなるのが一番よいのではないかと思う旨、発言があった。

高田理事より、三菱 UFJ 寄附金について、もう少し経緯を説明して欲しい旨、質問があった。

事務局安田より、三菱 UFJ 銀行の行員より、当財団ホームページをご覧いただき、寄附の申出があった。同行の行員による社会貢献活動に対する支援制度を利用し、当該行員の企画が採択され、当財団へ事業寄附があった旨、説明があった。

棚橋監事より、事務局体制は実質 2.5 名分であるが、令和 8 年度予算案の人件費では令和 7 年度決算見込みの人件費(事業費・管理費合計)より少なく、この水準で適正と言えるのかとの指摘があった。今後の世代交代も見据えると、若手人材確保の観点からも最低でも約 1,000 万円程度の人件費は必要ではないかとの意見が示された。あわせて、会費値上げや団員特典をオプション制導入、システム見直しの検討に加え、理事・役員も含め、寄附獲得や収益向上への意識を持って来年度の事業運営にあたる必要がある、との監事意見があった。

遠藤専務理事より、人件費増額の必要性は認識しており、本年度は給与を 3%引き上げたとの説明があった。継続的なベースアップの必要性は理解しているが、財源の見通しが不透明なため慎重に対応している状況であり、今後、収支見込みが明確になれば年度途中での引上げも検討したい旨の発言があった。

山崎理事長より、第1号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

第2号議案 2026年度のYAC活動委員会のミッション案及び活動委員の選任について

麻生理事より、資料No.2(1) 2026年度からのYAC活動委員会のミッション案と(2) YAC活動委員会のミッション案 担当・必要経費・必要経費の原資表について、説明があった。

また、特に(5)衛星データ利用コンテストについては諸経費を要するが、次年度も棚橋電機株式会社様より10万円の寄附をいただけることとなり、謝意が表された。

活動委員の選任については、今期をもって藤島委員が退任し、後任として水沢 Z 分団の亀谷分団長を推薦する旨の報告があり、本人の承諾も得ているとの説明があった。

稲田事務局長より、第2号議案について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

中沢理事より、(15)のモデルロケットに関するライセンスの検討について、身近な材料を用いた自由度の高い機体も含めたライセンス制度としてはどうかとの提案があった。自身に関わる「アイデアロケット工房」においても、小学校や自治体からの依頼で実施しており、安全性は確保できているとの説明があり、必要であれば関連情報の提供も可能である旨、発言があった。

これに対し麻生理事より、本提案は安全確保を最優先とする観点からのものであり、ライセンスはYAC指導員に限定して付与する考えである旨の補足説明があった。

山崎理事長より、第2号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

(5)報告事項

①理事長及び専務理事の業務執行状況について

理事長の業務執行状況について

山崎理事長より、資料No.3に基づき、理事長の業務執行状況について報告があった。

専務理事の業務執行状況について

遠藤専務理事より、専務理事の業務執行状況については、特段報告することがない旨、発言があった。

②理事の任期満了に伴う選任(重任)について

事務局安田より、資料No.4に基づき、6月定時評議員会をもって理事の任期が満了する旨の説明があった。これに伴い、理事8名は重任予定であり、藤島理事は任期満了をもって退任の意向である旨の報告があった。

③団員推移について

事務局小定より、資料No.5に基づき、現在の団員数は1,855名で、ほぼ横ばいという状況の報告があった。あわせて、天文宇宙検定ではチラシ配布の効果により大学生以上の参加も増え、年間約20名程度増加している旨の説明があった。また、冊子「宇宙のとびら」の全国図書館への配布や、科学館等でのポスター掲示により、YACを知り入団につながる効果も期待できる旨、報告があった。

(6)その他

①前回理事会におけるアクションアイテムについて

令和7年度第1回理事会で継続討議となったアクションアイテム3件について、事務局安田より資料No.6に基づき説明があった。各事項は引き続き検討を行い、次回6月理事会に提案できるよう整理することとした。

室山理事より、これまでどおりの取組を継続するだけでよいのか、子どもたちと宇宙について考える際にどのような姿勢や理念を持つべきか、共有できる言葉や指針が必要ではないかとの問題提起があった。あわせて、本件については今後あらためて議論を深めたい旨の発言があった。

中沢理事より、分団規約見本案について質問があり、事務局安田より、全国の分団のうち約半数が分団規約を整備していない状況にあること、また既存の規約においても団員や保護者とのトラブル発生時の対応を明確に定めていない場合があることから、今回、参考となる見本案を作成した旨説明があった。

また、麻生理事より、見本案では第 11 条において団員または保護者が分団の目的や運営を著しく妨げる行為を行った場合に退団を求めることができる旨を規定するなど、分団運営上のトラブル防止を図る内容としている旨の補足説明があった。また、規約未整備の分団には本見本案を参考に整備を進めていただき、既存規約についても必要に応じて見直しを検討いただきたいこと、あわせて理事にも内容を確認のうえ意見をいただきたい旨の発言があった。

虎野理事より、資料No.6 説明資料(1)「連携団体規程の改定(案)」の対照表における改定後(分団の要件)第12条(3)の表現について、紛争解決その他の事項を含む趣旨であれば「及び」ではなく「、」とすべきとの指摘があり、修正することとした。

②次回理事会開催日程について

事務局安田より、次回理事会は 2026 年 6 月の決算理事会とし、出席理事・監事の予定を確認の上、候補日を 6 月 3 日(水)15 時からとすることで確認した。あわせて、6 月定時評議員会終了後に臨時理事会を開催し、理事長および専務理事の互選を行う予定である旨、説明をおこなった。

山崎理事長より、本日の理事会の閉会を告げ、15時30分に終了した。

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに出席した監事は記名押印する。

以 上

令和 8年 3月 2日(月)

(議長)

理 事 長	山 崎 直 子	押印済
-------	---------	-----

監 事	棚 橋 秀 行	押印済
-----	---------	-----

監 事	富 田 実	押印済
-----	-------	-----